



テーマ『量的分析』

本研究会は、パーソナリティや病理の深さなど、様々な示唆が得られるロールシャッハ法(馬場法)や精神力動的な理解の習熟を通して、心理臨床家のアセスメント機能と連携機能の向上を図り、クライアントの生活に資することを第一の目的として活動しています。今年度より本研究会は開催頻度を増やし、通年の研究会と特別セミナーを行う運びとなりました。

今年度の特別セミナーでは『量的分析』をテーマにします。ロールシャッハ法の解釈は量的分析と継起分析に大きく分けることができますが、量的分析からだけでも多くの示唆を得ることができます。さらに継起分析を行う上では、反応継起のどこに注目すればよいかを教えてくれる、云わば“地図”としての重要な役割を量的分析は果たします。

講師の内田良一先生は、馬場禮子先生編著『力動的心理査定-ロールシャッハ法の継起分析を中心に(2017年, 岩崎学術出版社)』で量的分析の章を執筆しておられます。力動的解釈における量的分析について詳しく学べる貴重な機会ですので、多くの方にご参加いただければ幸いです。

日 時：2018年7月14日(土) 10:15～16:15(9:30開場・受付開始 途中昼休憩有)

会 場：あがたの森文化会館 中会議室(長野県松本市県3丁目1-1) ※駐車場は数に限りがあります。

会 費(当日徴収)：一般6,000円 院生5,000円

定 員：30人(お早めにお申し込みください)

備 考：条件を満たせば、臨床心理士のポイント申請をする予定です

【セミナー 次第】

10:15～12:15

講義：「量的分析の基礎と進め方」

講師：内田良一先生(かながわ臨床心理オフィス)

後半は、午後に扱う事例のスコアリングについて確認します。

12:15～13:15

昼食

※会場内飲食可。ゴミは各自お持ち帰り下さい。

13:15～16:15

事例検討会：「事例を通じた理解」

事例提供者：齊藤由布先生(特定医療法人南山会 峡西病院)

講師：内田良一先生

質疑応答

【内田良一先生 ご略歴】

臨床心理士(登録番号3361)。慶応義塾大学大学院修士課程修了後、三恵病院などにて精神科臨床に従事。関東学院大学および日本女子大学カウンセリングセンター、神奈川県立病院附属看護専門学校にて学生相談・非常勤講師、相州メンタルクリニック心理室長を経て、現在はかながわ臨床心理オフィス 所長。

ロールシャッハ法は、馬場禮子先生に師事し、現在は同先生とともに研究を行っている。

専門は、精神分析的心理療法、人格(性格)検査、危機介入、コンサルテーション、産業メンタルヘルス、不安・ストレス障害・うつ・人格障害の心理療法

【お申込み・お問合せ先】

お申込みの際は、件名に『2018年度特別セミナー参加申込』と表記いただき、①氏名・②所属・③職種・④住所・⑤電話番号・⑥メールアドレス・⑦臨床心理士資格の有無・⑧最終学歴をご記入の上、まつもとロールシャッハ研究会事務局(E-mail：matsumoto.rorschach@gmail.com)までご連絡ください。

※本セミナーでは、ロールシャッハ・プロトコルを事前に送付いたします。送付された資料については、セミナー終了後に必ず返却するようお願いいたします(複写禁)。